

校長あいさつ

本校は、明治6年10月7日に、桐生新町浄運寺に「桐生学校」の名称で誕生した市内最古の歴史ある学校で、今年の10月7日には創立145周年を迎えます。

明治11年4月24日の新校舎落成式には、NHK大河ドラマ『花燃ゆ』に登場した初代群馬県令の掛取素彦氏が臨席して式典が挙行されたという記録と、同県令から贈られた祝歌（この里の学びの道は織物の綾に錦にくらべてぞみむ）>が残っています。同県令は本校草創期における教育の振興・発展に多大な貢献をされた人物であり、明治17年7月に本校のために揮毫した「桐生学校の扁額」は、今も本校のメイン廊下である「北小っ子通り」に大切に飾られています。その後、時代によって学校の名称は変遷してきましたが、昭和22年4月1日からは桐生市立北小学校となり、平成29年度末の卒業生数は2万3千余名にも上っています。

平成30年度の児童数は、26名の1年生を迎え175名（7学級）でスタートしました。もっとも児童数が多かった昭和29年度の2,476名（45学級数）から比べるとだいぶ少なくなりましたが、イチョウ、クスノキ、カシワ、サクラなどたくさんの古木が昔も今も変わらず子どもたちを見守ってくれています。全学年単学級の小規模校ではありますが、産・学・官が連携した「未来創生塾」の協力校として、伝統的建造物群を有する文化の薫り高い学区内の物的・人的教育資源を最大限に活用しながら、日々の教育活動に取り組んでまいります。そして、本校の学校教育目標である「確かな学力を身に付け、豊かな心をもった、心身ともに健康な児童を育成する」ために、全教職員一体となって子どもたちの指導に当たりたいと考えております。

勉強にも、健康づくりにも、読書活動にも、学校行事にも、子どもたちが生き生きと取り組めるような学校づくりに努めていきたいと思っていますので、保護者の皆様と地域の皆様の変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成30年4月

桐生市立北小学校 校長 樋口 令子

